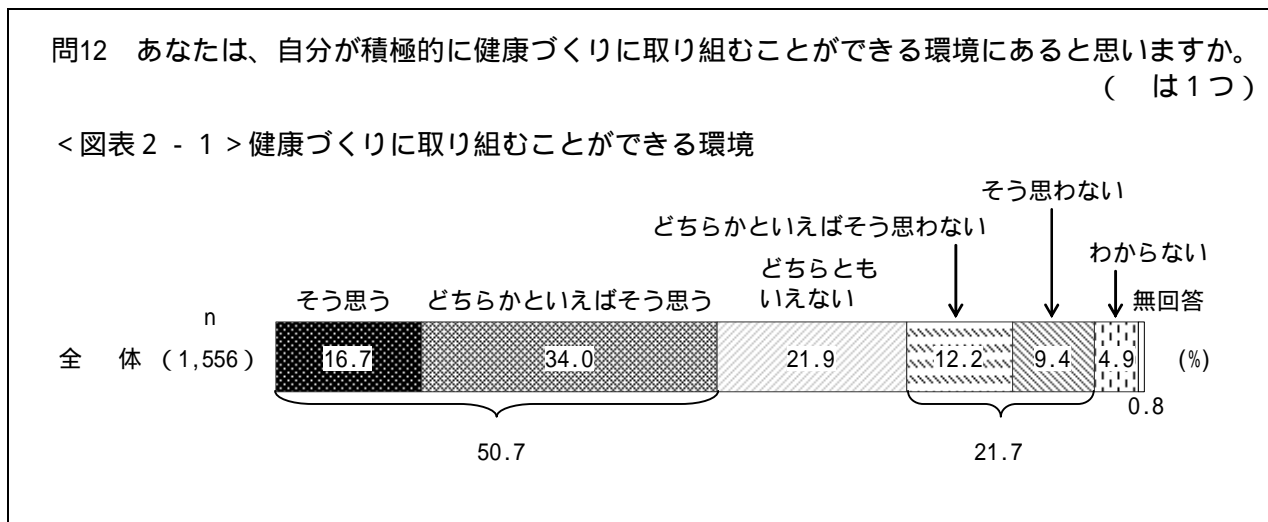


2 健康について

(1) 健康づくりに取り組むことができる環境

『そう思う』が5割



自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思うか聞いたところ、「そう思う」(16.7%)と「どちらかといえばそう思う」(34.0%)を合わせた『そう思う』(50.7%)は5割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(12.2%)と「そう思わない」(9.4%)を合わせた『そう思わない』(21.7%)は2割を超えている。(図表2 - 1)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)

n	そう思う	そう思わない	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成23年度調査(1,607)	52.2	19.0	28.8
平成24年度調査(1,550)	52.6	19.3	28.1
平成25年度調査(1,556)	50.7	21.7	27.6

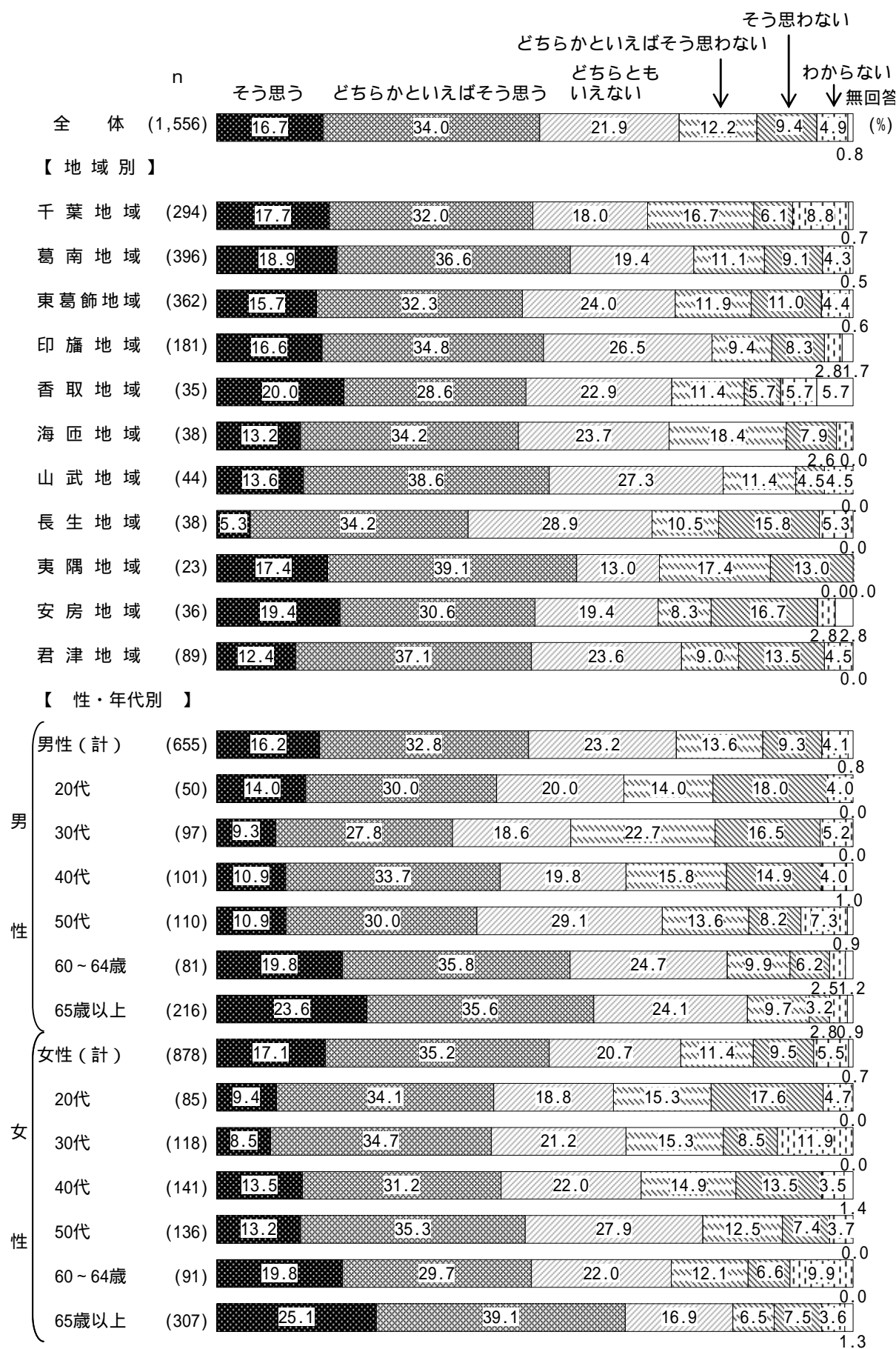
【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“夷隅地域”(56.5%)と“葛南地域”(55.6%)が5割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。(図表2 - 2)

【性・年代別】

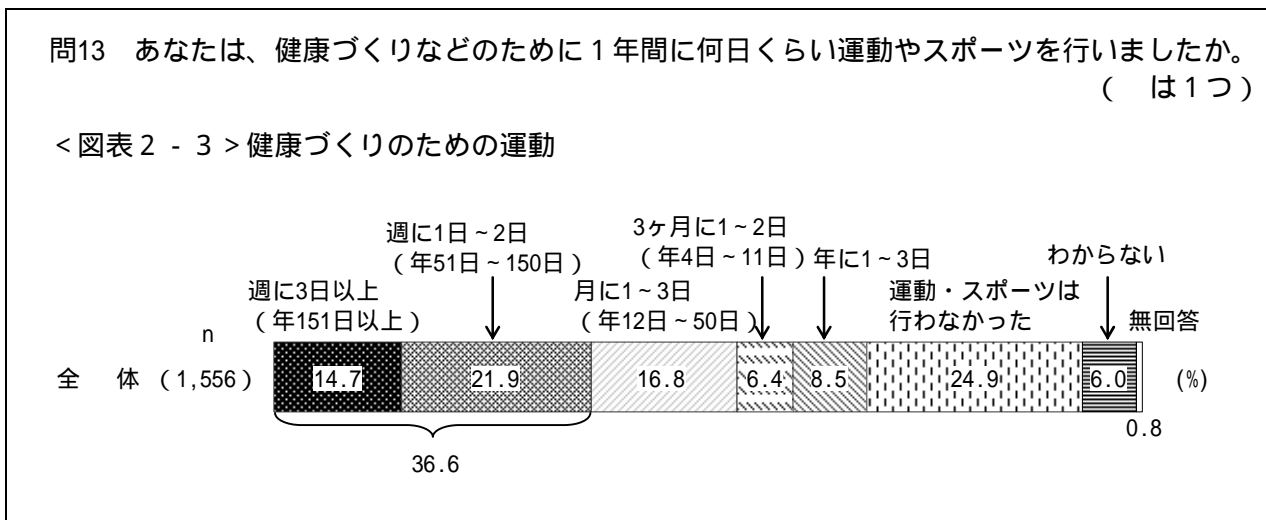
性・年代別にみると、『そう思う』は女性の65歳以上(64.2%)が6割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表2 - 2)

<図表2 - 2> 健康づくりに取り組むことができる環境 / 地域別、性・年代別



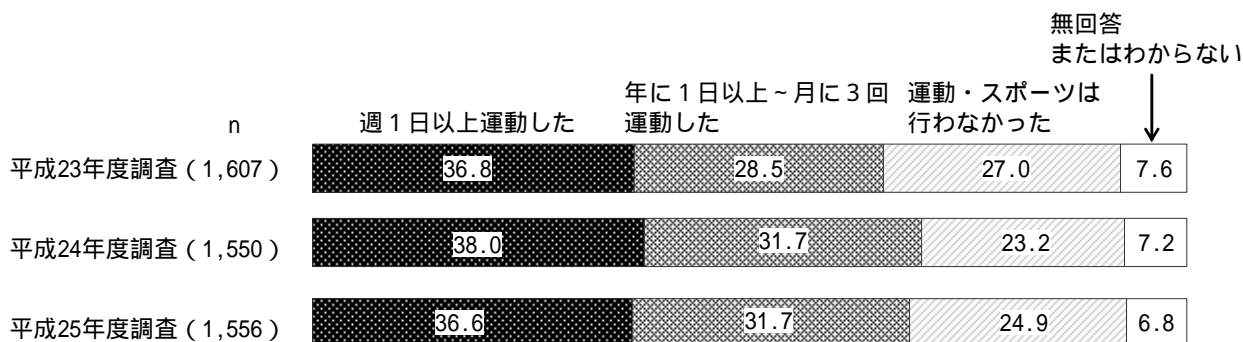
(2) 健康づくりのための運動

『健康づくりのために週1日以上運動した』が3割台半ば



健康づくりなどのために1年間に何日くらい運動やスポーツを行ったかを聞いたところ、「週に3日以上(年151日以上)」(14.7%)、「週に1日~2日(年51日~150日)」(21.9%)を合わせた『健康づくりのために週1日以上運動した』(36.6%)は3割台半ばとなっている。一方、「運動・スポーツは行わなかった」(24.9%)は2割台半ばとなっている。(図表2-3)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



【地域別】

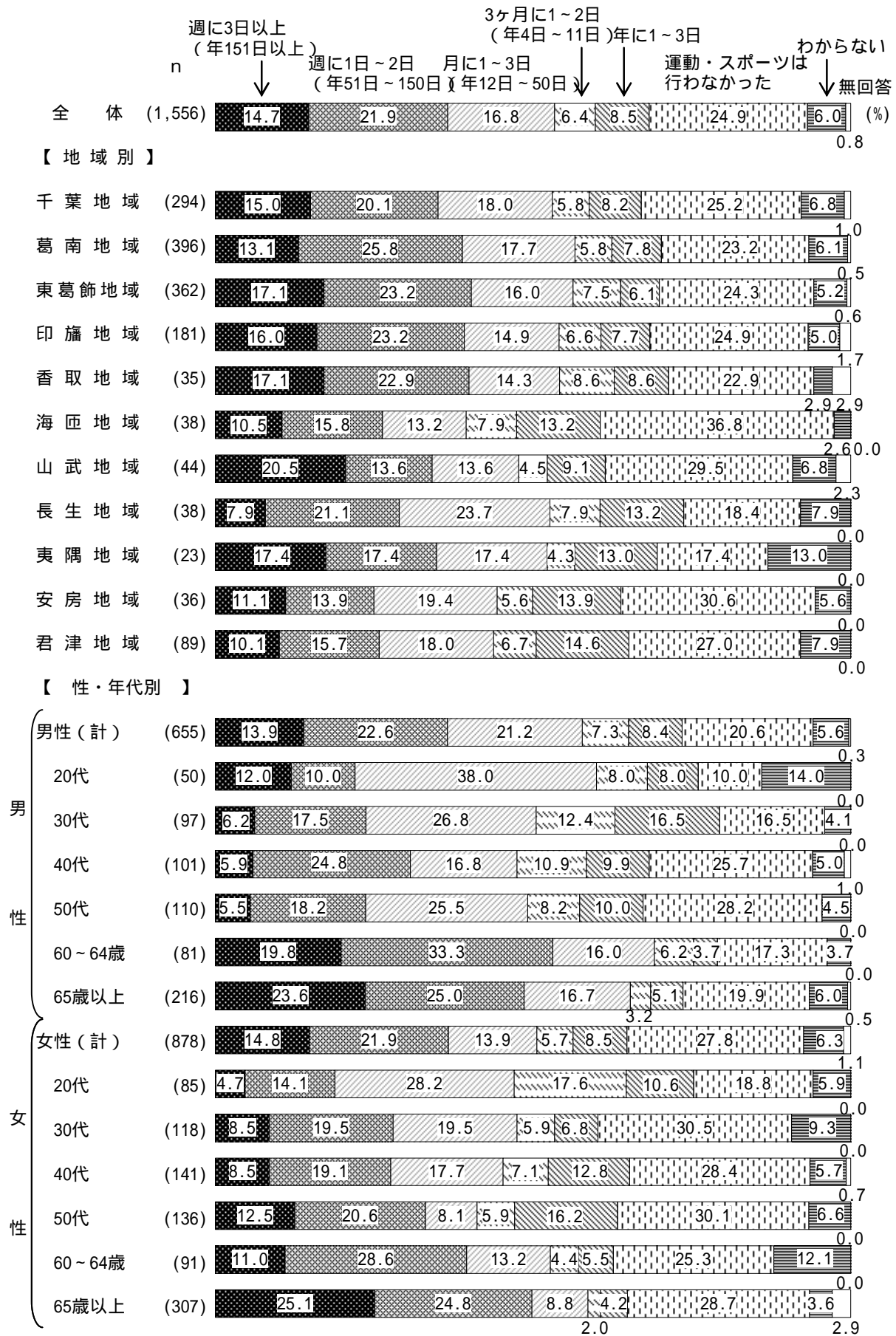
地域別にみると、『週1日以上運動した』は“東葛飾地域”(40.3%)、“香取地域”(40.0%)が4割、“印旛地域”(39.2%)、“葛南地域”(38.9%)が約4割と他の地域に比べて高くなっている。

(図表2-4)

【性・年代別】

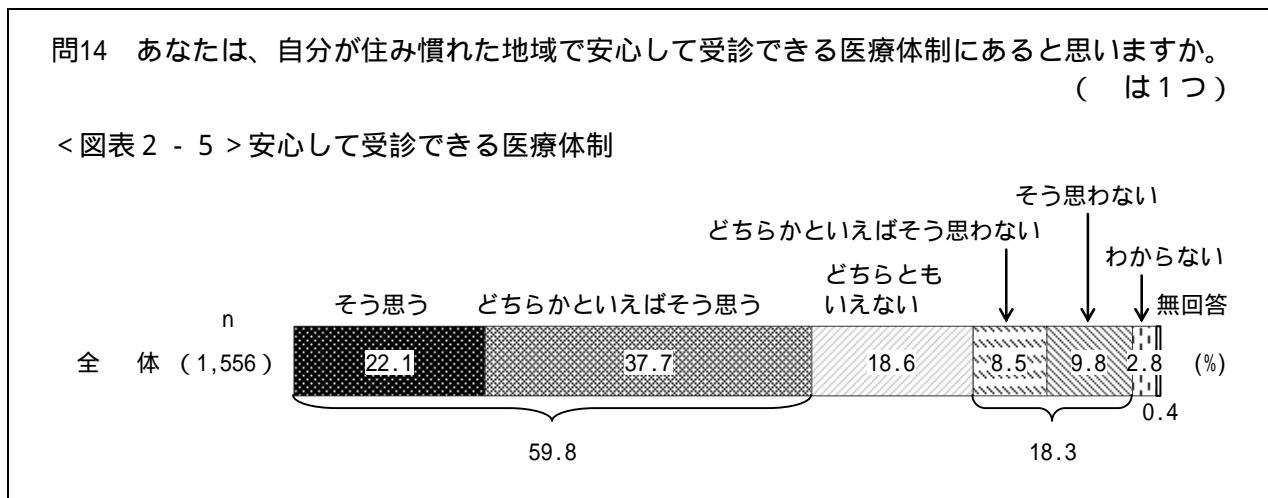
性・年代別にみると、『週1日以上運動した』は男性の60~64歳(53.1%)が5割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表2-4)

<図表2 - 4> 健康づくりのための運動/地域別、性・年代別



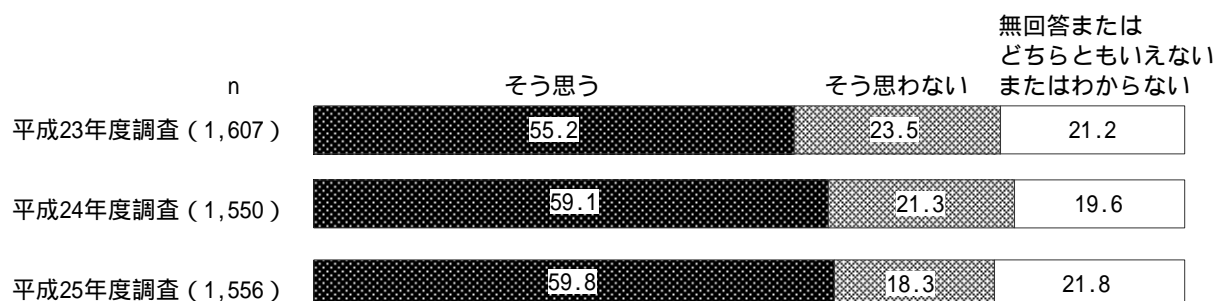
(3) 安心して受診できる医療体制

『そう思う』は約6割



住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制が整っていると思うか聞いたところ、「そう思う」(22.1%)と「どちらかといえばそう思う」(37.7%)を合わせた『そう思う』(59.8%)は約6割である。一方、「どちらかといえばそう思わない」(8.5%)と「そう思わない」(9.8%)を合わせた『そう思わない』(18.3%)は約2割となっている。(図表2 - 5)

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較(単位:%)



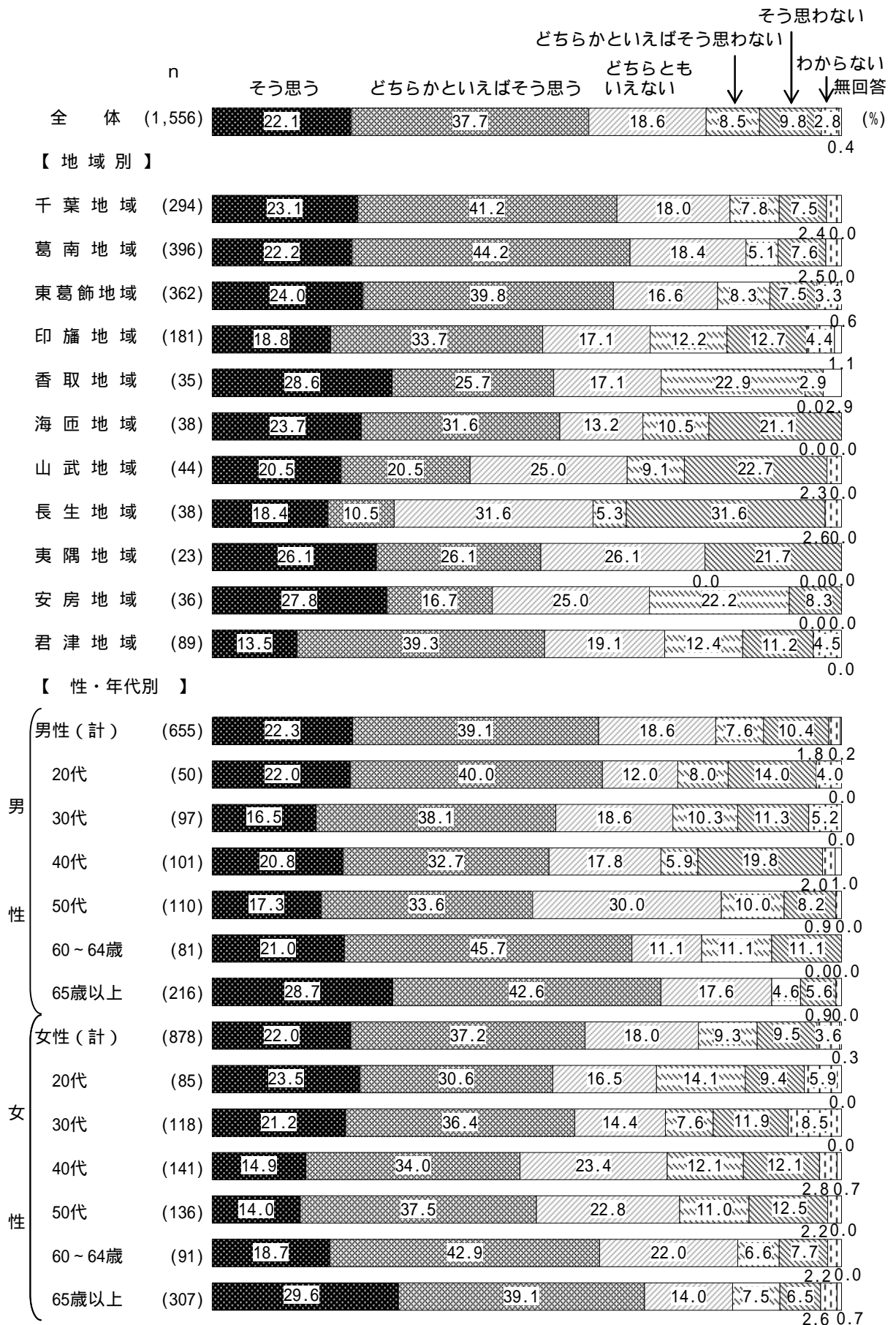
【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“葛南地域”(66.4%)、“千葉地域”(64.3%)、“東葛飾地域”(63.8%)が6割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。(図表2 - 6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は男性の65歳以上(71.3%)が7割を超え、女性の65歳以上(68.7%)が約7割で他の年代に比べて高くなっている。(図表2 - 6)

< 図表 2 - 6 > 安心して受診できる医療体制 / 地域別、性・年代別



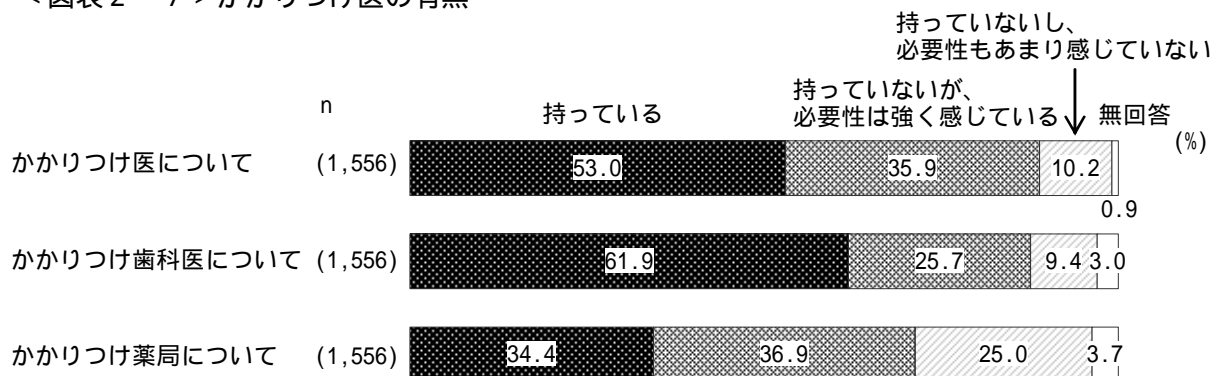
(4) かかりつけ医の有無

かかりつけ歯科医を持っているが6割を超え、かかりつけ医を持っているが5割台半ば

問15 あなたの過去の病歴や体質などを知っていて、気軽に相談に応じてくれるとともに、必要なときには他の専門機関等を紹介してくれる、身近な医師（歯科医・薬局）を、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」と呼んでいます。

あなたは、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」をお持ちですか。（はそれぞれ1つずつ）

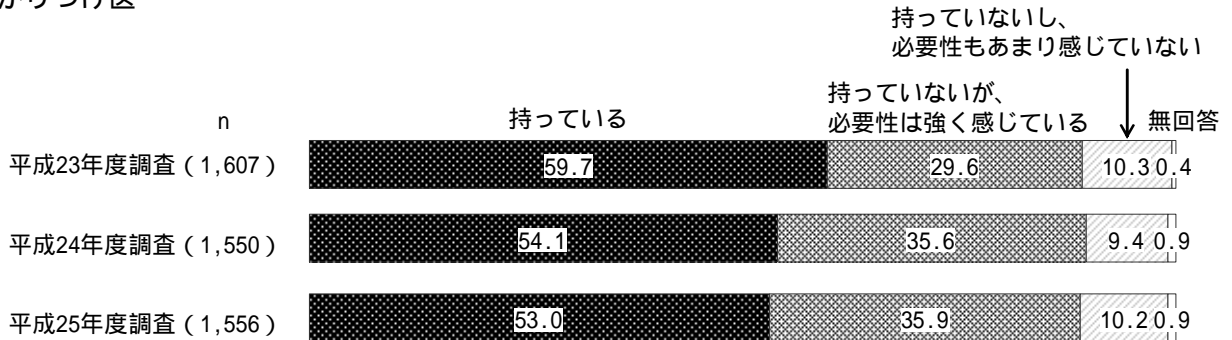
<図表2 - 7> かかりつけ医の有無



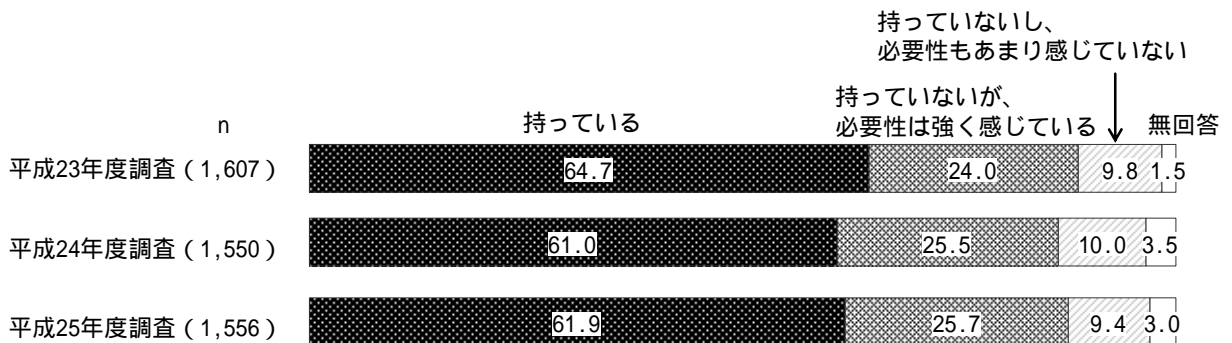
かかりつけの医師、歯科医、薬局を持っているかどうかを聞いたところ、「持っている」は歯科医（61.9%）で6割を超え、医師（53.0%）が5割台半ばであるが、薬局（34.4%）では3割台半ばである。また、「持っていないが、必要性は強く感じている」は薬局（36.9%）と医師（35.9%）で3割台半ばとなっている。「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は薬局（25.0%）で2割台半ばとなっている。（図表2 - 7）

〔参考〕平成23年度・平成24年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

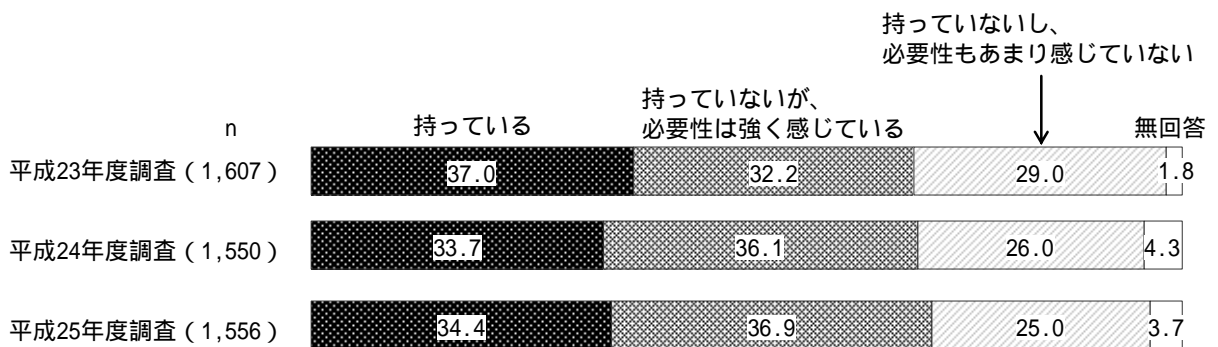
かかりつけ医



かかりつけ歯科医



かかりつけ薬局



【地域別】

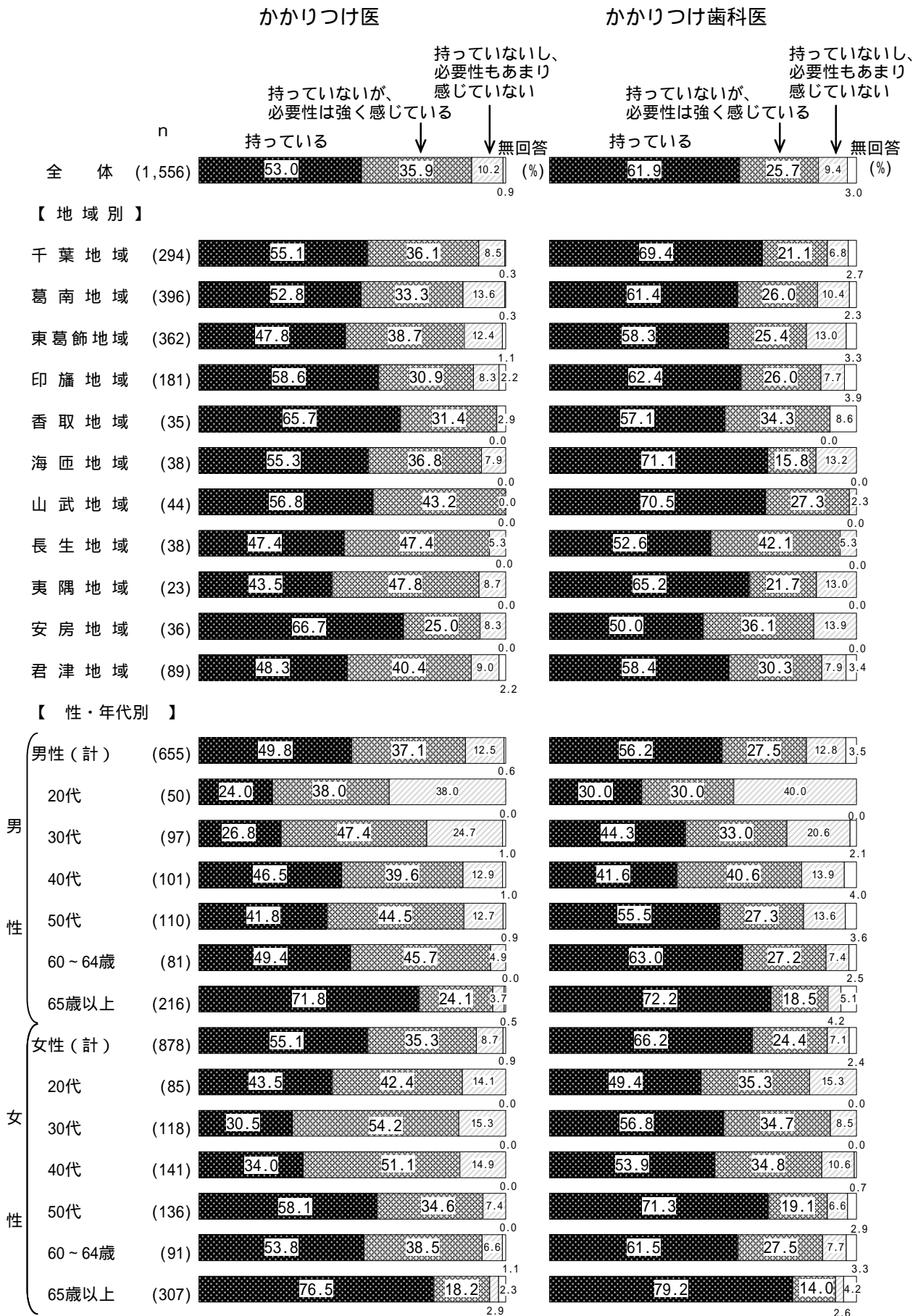
地域別にみると、かかりつけ医を「持っている」は“安房地域”(66.7%)、「香取地域」(65.7%)が6割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。かかりつけ歯科医を「持っている」は“海匝地域”(71.1%)、「山武地域」(70.5%)が7割以上で他の地域に比べて高くなっている。かかりつけ薬局を「持っている」は“香取地域”(48.6%)が約5割で他の地域に比べて高くなっている。(図表2-8)

【性・年代別】

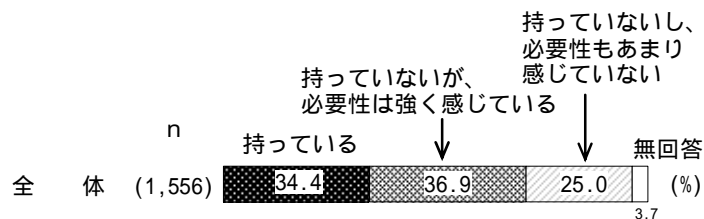
性・年代別に見ると、かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局のいずれの項目でも「持っている」は女性の65歳以上(76.5%、79.2%、57.3%)が他の年代と比べて高くなっている。

(図表2-8)

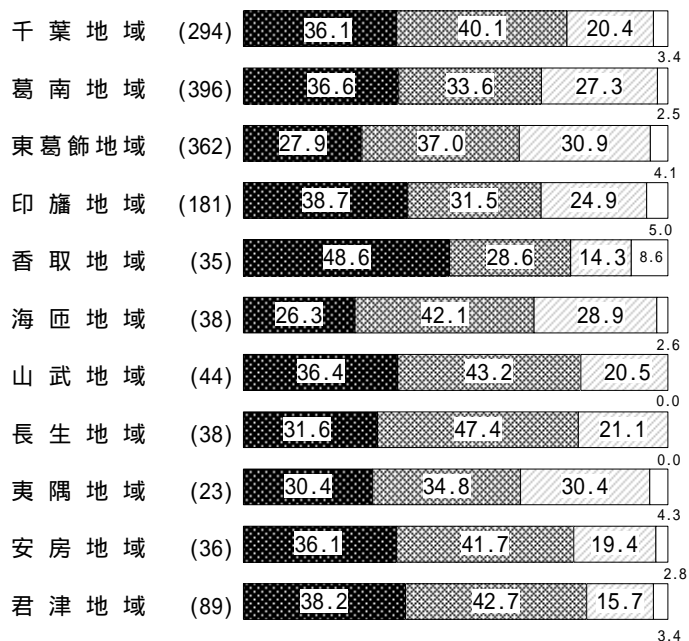
<図表2 - 8> かかりつけ医の有無 / 地域別、性・年代別



かかりつけ薬局



【地域別】



【性・年代別】

